

予選第1ラウンド：三択ペーパークイズ

- ・100問×12分のペーパークイズ。1問1点。**得点そのまま予選第1ラウンドの獲得ポイント**となる。
- ・予選第2ラウンドの組分けのために順位をつける。得点が同点だった場合は年齢の高い人を上位とする（下位のほうが第2ラウンドにおいて有利と思われるため）。得点も生年月日も全く同じだった場合はジャンケンで決着をつける（勝ったほうが下位となる）。
- ・ペーパークイズの回答用紙に、予選第3ラウンドで参加を希望する2つのコースを必ず記入すること。

予選第2ラウンド：5〇3×早押しクイズ

- ・第1ラウンドのペーパークイズの順位によって、下記のように組み分けし、第1組から順番に実施する。  
※当日の参加人数によって若干変動する可能性あり。その場合はペーパークイズ開始前に明確にお伝えします。

**第1組：17位～23位 第2組：11位～16位 第3組：6位～10位 第4組：1位～5位**

- ・30問限定、**各組1人抜け**の5〇3×（5問正解で勝ち抜け、3問不正解で失格）早押しクイズ。
- ・各組トップ抜けした人には**30ポイント**が与えられる。終了時点で失格していなかった人には終了時点の**正解数×3ポイント**、途中で失格してしまった人には失格した時点の**正解数×2ポイント**が与えられる。失格した場合を除き、不正解の数はポイントに影響しない。
- ・勝抜者がいなかった場合は、その時点のトップに30ポイントのボーナスは無し。通常のルールでポイントを加算する。

予選第3ラウンド：コース別ボードクイズ

※全3コースの中から2コースに出場できる。各コース共通で1位から6位まで **50 30 20 15 10 5** ポイントが加算される。

Aコース：知識系ボードクイズ

- 15問限定。シンキングタイムは15秒。単独正解で+5点 2～4人正解で+3点 5人以上正解で+1点
- 20点到達で勝ち抜け 勝抜者が同時に出た場合は勝ち抜けた時点の得点を優先 それも同時の場合は予選獲得ポイントを割る（小数点以下四捨五入）
- 6人勝ち抜けたら終了 勝抜者が6人に到達しなかった場合は終了時点の得点で順位をつける 同点の場合は予選獲得ポイントを割る（四捨五入）

Bコース：知恵系ボードクイズ

- 15問限定。シンキングタイムは30秒。単独正解で+5点 2～4人正解で+3点 5人以上正解で+1点
- 15問終了時点の得点により順位をつける 同点の場合は予選獲得ポイントを割る（四捨五入）

Cコース：多答クイズ

- 10問限定。シンキングタイムは30秒。
- 「自分しか書かないであろう（「通常回答」）」と「絶対他者が書いているであろう（「阻止回答」）」と思うものを1つずつ書く。
- 「通常回答」が他者の「阻止回答」と重複しなければ3点。「阻止回答」が他者の「通常回答」と一つ以上合致すれば1点。
- 10問終了時の得点により順位をつける 同点の場合は予選獲得ポイントを割る（四捨五入）

**※ここまでの予選獲得ポイント上位16名が決勝ラウンドへ進出！**

### 決勝ラウンド1回戦：柔道クイズ（16名→10名）

予選順位によって、下記の通り組み合わせを決定する。

1位 vs16位	2位 vs15位	3位 vs14位	4位 vs13位	5位 vs12位	6位 vs11位	7位 vs10位	8位 vs9位
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------

- ・全員に対して一斉に早押しクイズを出題。50問限定。
- ・1問正解で「有効（1点）」 **対戦相手に対して2問連続で正解すれば「技あり（2点）」** 3問連続正解で「一本（勝ち抜け）」  
「技あり」2回で「一本」となる。
- ・お手つき・誤答は問題を読みきって対戦相手に解答権が移る。対戦相手も不正解だった場合は、連答権は移動しないものとする。
- ・50問終了時で決着の付いていない組み合わせがあった場合、柔道のルールに沿って判定する（①技あり>有効 ②得点数）  
それでも同点の場合は、同点の組み合わせに対して一斉に101×のサドンデス早押し。
- ・敗退者の中で、獲得したポイントの多い2名がワイルドカードで復活できる（この場合の得点は技あり・有効関係なし。単純に得点で争う）  
これも同点の場合は101×のサドンデス早押しで決着をつける。
- ・**勝ち抜けた順番に準決勝のコースを選択できる。**準決勝のコースはそれぞれ定員5名（敗者復活枠がそれぞれ2名）とする。

### 敗者復活ラウンド：「トリビアの泉」早押しクイズ（敗者全員→4名）

- ・予選ラウンド、決勝ラウンド1回戦の敗者、全員参加の早押しクイズ。
- ・問題は全てフジテレビ系「トリビアの泉 ～素晴らしきムダ知識～」に関するものだが、クイズの知識で対応できるものも多い。
- ・1問正解で1へえ 不正解で-1へえ
- ・満へえ（20へえ）に到達したら敗者復活だが、そんなに行くはずないので規定出題数 or 規定時間終了時点でへえの多い4名が敗者復活。
- ・へえの多い順に準決勝のコース選択（各コース2名まで）。同じへえの場合はジャンケンで決める。

### 準決勝Aコース：早押しボードクイズ（7名→2名）

- ・15問限定の早押しボードクイズ。早押し正解+3 早押し不正解-3 ボード正解+1 ボード不正解±0  
単独正解の場合は早押し・ボードに関わらず、さらに+2点。
- ・20点到達で勝ち抜け。または15問終了時、得点の多かった人が勝ち抜け。
- ・複数人数が同時に20点に到達した場合は、「早押し正解で20点に到達した者」を優先する（1位-2位が同時に抜けた場合は判定を行わない。2位以下で同時に抜けた場合、また3人以上が同時に1位抜けを争う場合のみ、判定を行う）。
- ・上記の判定で決着が付かない場合は201×の早押しクイズで決着をつける。
- ・また、15問終了時の得点が同点の場合も201×の早押しクイズで決着をつける。

### 準決勝Bコース：早押し&上座山手線多答クイズ（7名→2名）

- ・まず、7人に対して多答クイズの回答順を決める「席次決め早押しクイズ」を行い、次に「多答クイズ」を行う。  
以上を1セットとし、これを5セット行い、最終的に**席次ポイント**と**多答ポイント**の合計上位2名が勝ち抜け、決勝進出。

#### <席次決め早押しクイズ>

- ・101×の早押しクイズで席次を決める。正解した順に1,2,3・・・の席次につく。不正解すると7,6,5・・・につくことになる。  
**席次ポイント**として、この席次の順に **①6点 ②5点 ③4点 ④3点 ⑤2点 ⑥1点 ⑦0点** が入る。

#### <上座山手線多答クイズ>

- ・席次決め早押しクイズで1位となった人が多答ジャンルを指定できる。そのジャンルの多答クイズが出題され、上座のメンバーから順に回答する。
- ・多答のシンキングタイムは5秒。自分より前に出た正答を答えても正解とならない。
- ・多答の回答権は1人につき3回まで回ってくるが、一回不正解したら次の周回以降の多答回答権を失う。
- ・答えが分からない時、または戦略的に「パス」をすることができる。「パス」をした場合は次の周回に参加できる。「パス」は何度してもOK。  
シンキングタイムの5秒を経過したときに無回答の場合は「不正解」とみなす。明確に「パス」の意思を表明すること。
- ・多答クイズに正解すると、**多答ポイント**として **1周目の正解：2点 2周目の正解：4点 3周目の正解：6点** が入る。

### 決勝：アタック25（4名→1名）

- ・まあ定番ということで。